



学校教育目標 主体的に考えて行動するー自律・創造・尊重ー

加古中 TIMES

笑顔あふれる学校 KAKOGAWA

Knowledge(知識・経験からの情報)
Action(行動・活動)
Kindness(親切・思いやり)
Open-minded(広い心・偏見のなさ)
Growth(成長・発展)
Appreciation(感謝・正しい評価)
Wellness(心身の健康・生活のバランス)
Answer(答えを見出す)

「才能見極める4つの要素」

サッカーのワールドカップ 2026 で、日本代表がサッカー王国のブラジルに惜敗してから少し時間が経ちました。しかし、大会はまだ継続中で、世界のトップアスリートのスーパープレイを体感できる機会はまだまだ残されています。

今日の朝日新聞の朝刊に載っていた「世界で一番失敗したから『怪物』になった～小国ノルウェーの育成術～」という、サッカーワールドカップの記事が印象に残りました。28年ぶりの出場を果たしたノルウェーの中心選手で、今朝(6日)の試合で2得点し、日本が敗れたブラジルを撃破したチームのエース、ハーランド選手に関する記事です。

ノルウェーと日本の人口規模で比較してみると、ノルウェーは約 565 万人、日本は約 1 億 2285 万人(※日本はノルウェーの約 22 倍)です。ノルウェーは、兵庫県の人口(約 530 万人)に近いものです。国全体の規模感には大きな開きがあります。ちなみに、面積を比較してみると、ノルウェーと日本はほぼ同じサイズでした。いかに日本に人が密集しているか、逆にノルウェーがゆったりしているかが分かります。面積ベースで見ると、どちらの国も兵庫県が約 44～45 個入る大きさだそうです。

(注)ノルウェーの 12 歳人口は、10～14 歳人口(約 32.2 万人)から 1 歳あたりの平均値の推計
日本の 12 歳人口は、総務省統計局が発表している 2014 年(平成 26 年)生まれの推計人口

10年ほど前、ノルウェー国内の 14 歳の合宿に選ばれた 25 人のうち、誰が将来一番良い選手になるかをコーチ陣で選ぶことにしました。その時は、誰もハーランド選手に印を付けなかったそうです。16歳の時の練習動画には、ゴールの左右に外れてもひたすらシュートを打つ金髪の選手が映っていました。「当時はこの程度の技術だった」との育成統括者のコメントが載っていました。もともと上手な選手ではなかったということです。

しかし、彼が世界的なストライカーになった理由として「彼が一番失敗したから」というコメントが残っていました。彼だけが居残り練習をして、黙々とシュートを打っていたそうです。次の4つの才能を見極めた育成側が大切に育て、ハーランド選手はその時にできるベストを尽くしたのだと感じました。

①いつもサッカーをしたい気持ちがあるか ②成長マインド ③学ぶ意欲 ④存在感

ハーランド選手は、もともと4つすべてが備わっていたわけではないけれど、③の「学ぶ意欲」があったそうです。幼いころからフィジカルだけではなく、知性を成長させてきた「知性の怪物」だったそうです。スーパースターから学ぶことは多いですが、誰にでも可能性はあるとも感じています。

ある船は東へ向かい ある船は西へ向かう しかも、同じ風に乗って…
船の進路を決めるのは 風向きではなく 帆の張り方なのだ

運命の流れも海原の風に似ている
人生の航路を進む中 私たちの行き先を決めるのは
運命の平穏や苦難ではなく 自らの心のあり方なのだ…

なり得る最高の自分になる
Becoming the best version of myself!

